

第三級海上特殊無線技士試験問題

無線工学

(注) 次の各問題の記述について、正誤のいずれかを選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

1. 電波の伝わる速度は、1 秒間に 30 万キロメートルである。
2. 搬送波の周波数を音声信号で変化させるのは、周波数変調方式である。
3. 同じ種類の電池を並列に接続すると、高い電圧を得ることができる。
4. 浮動充電(フローティング)方式を用いると、負荷の変動に伴う電圧変動が大きい。
5. 相手の通信を受信するとき、音量つまみで聞きやすい音量に調整する。
6. 電離層の状態は、昼間と夜間又は季節等によって変化しない。
7. 無線電話装置の「感度」つまみは、受信電波の強弱に応じて調整するとき使用する。
8. スケルチつまみは、送信する電波の雑音を消すために使用する。
9. 超短波(VHF)帯の電波は、光に似た性質をもっているため、見通し距離内の通信に適している。
10. 船舶に設置されたパルスレーダーは、マイクロ波(SHF)帯を使用する。